第２回北里地区の学校を考える会で提出された意見、提案、要望等

前回提出いただいたシートのうち、意見や提案、要望についてはほぼ原文のまま掲載をしております。（一部、切り分け等あり）

No.	内容
1	６年～７年、小6→中一の通過儀礼はあった方がいいと思います。ここで制服もあった方がいいと思います。
2	通学時間が同じになります。藤島地区からは歩道が狭い。又、災害時には避難通路になっています。歩道の拡幅をお願いします。
3	アンケートについては、地域住民の意見も取り入れてほしい。傍聴人が今日も少ない。広く北里地区住民に呼びかけてほしい。
4	小中を一貫教育にする事で子供の教育が向上すれば良いと思います。小学校は６年でその上の中学生の姿を見て成長してくれたらと思います。
5	下記を計画に入れとともに、早めに取り組んでいただきたい。 バスの導入、バス停の位置。通学路のみどりストップマーク横断歩道の軟設。通学道路標識、スピード落とせ等の注意喚起表示。待ち合わせ箇所のスペース確保。犯罪リスク箇所の対策など
6	１回目の会議を経て小中一貫校の話を初めて広報等で知った保護者さんの中から「引っ越ししなきゃ」と言うお話しを聞きました。まだ始まったばかりで色々考えていく部分ではありますが、委員以外の意見をすいあげていく機会をどんどん作ってもらいたいです。
7	藤島の前田委員が触れられた事と重複しますが説明の中で小木小から北里小まで1.4キロとされましたが、私の地域で見ると小木１丁目の端から北里小学校まで2.7キロあります。実際に歩いてみましたが３０分はかかります。以前は小木から北里へ通っていたから問題無いとの意見も聞きますが、交通量、治安も変化しており、かつ災害が日常となってきています。是非、安全第一を考えて頂き、通学路の確保を計画の中にしっかりおとしこんで頂きたい。
8	現行の通学路があるが本当に安全か？（７～8回見直点検されていると思いますが）楽しく通学出来る歩道の再整備をしてほしい。新一年生が学校までわくわくして行ける様な環境整備。道路整備は時間がかかりますので早目の整備着手をお願いします。学校の位置はもう決まってます。
9	アンケートに地域住民へのアンケートもとっていただきたい。地元住民の意見はどのように反映するのか疑問、未就学児もアンケート対象にしてもらいたい。
10	R9.3に業者決定とは？拙速すぎる。施設一体化のギロンがなさすぎる。
11	子の探求をいかした教育を考えると今後ますます少人数学級が求められる（小規模校とは別問題）
12	アンケートは地域住民の声も必要
13	小中一貫校についてはまだまだ理解が不十分だと思う。進行が早すぎる。
14	傍聴者に資料がもらえなかった話が理解できない。傍聴者も意見言いたい。
15	教育において主体的学びが重要なことは以前から言われている事であるが、小中一貫校でないとそれが実現できないとは思われません。経費の軽減のための学校編成・小中一貫校であるように思われてなりません。今後も児童・生徒・保護者・地域のみなさんのご意見をよく聞いて再編を考えていただきたい。委員の方から通学路の安全が何より大切であるとのご意見がありました。全くその通りであると思います。子ども達の負担になるような再編はあってはならないと思います。傍聴者の発言も可能にしてください。傍聴者にも資料を配布してください。
16	交流の幅が広がるのは喜ばしいこと。一方で基礎学力の定着、向上についてはどうかと考える。現在小牧市内の児童クラブで働いている。かつては小木児童クラブでも働いていた。学校からクラブに来ると、まず宿題（学習）をするが2年生でさえ、たし算・ひき算ができない分からない子がいる。部屋遊びの時間に教えることがあるが、学校では分からないのでボーっとしているという。3.4年生でも九九が言えない子が多数。こういった子たちを救ってほしい。発達障害・学習障害を持つ子を担任は次の学年の担任に性格等もしっかりと引継ぎしてほしい。駒来塾でも学習支援をしている。多くは小学校時から「分からない」をそのままにしてきた子。小学校→中学校への情報共有を密にしてほしい。教員多忙解消推進委員会もしている。上記の事を解消するために教員に負担をかけすぎることのないように保護者、地域の方々が協力し合える学校づくりをしてほしい。児童クラブの存在も必要と思う。できれば民間ではなく市が運営してほしい。
17	徒歩エリア、スクールバスエリア（小学校におて）の線引きで、徒歩については距離ではなく３０分以内で通えることを基準にしてほしい。
18	一貫校のメリットを生かして、心身共に大きくお成長する大事な時期に、９年かけてその子が生きていくための基盤を育てていくことができるような学校にしてもらいたい。長期的は教育は魅力的だと思います。ただ環境が変わらない９年間に苦痛を感じるのか、楽しいと感じるのかは子ども次第。最終的には子どもの性格に合うか合わないかも大きなポイントになると思いました。小木小学校では５年生に菜の花の種まきをし、６年生には収穫した菜の花から油を作りドーナツづくりをします。一貫校になると各校の大切な行事がなくなってしまうのか継続されるのかも気になりました。不安点もあります。教職員の負担増を考慮すると働き方改革に逆行し子どもへの影響も懸念されるのではないか。学年の区切りが異なる地域に転校が必要になる場合、不安を感じる保護者も出てくるのではないか。通学路に関しても危険個所がたくさんあります。トラックなど大型車が通る道を通らなければいけないため通学の安全面もしっかりと考えてもらいたい。
19	加納先生のお話しを聞いて小中一貫校について考えるよい機会となりました。長年教員をやっていると、これまでの経験や学んだことが新しい考えを受け入れるのに妨げになることがあります。まずはメリット・デメリットを客観的に議論しながら、よりよい方向へ進めていければと思います。ありがとうございました。
20	小中一貫になる特殊性に柔軟に対応できるような知識と専門性を持った教員の育成を望みます。施設が大きく豊になるイメージの中で子どもたちを見守る大人のレベルアップの必要性を感じます。施設環境はもちろんですが、一貫校の実りを実現する為、教員をはじめとする人員の育成や教員を導いていく指導者、コーデイネーターなどの配置を望みます。
21	傍聴席にいる人こそ地域の人ではありませんか？傍聴席の意見をもっと聞くべきでは？資料を事前に欲しい。第3回はぜひ変ってほしい。
22	義務教育を9年間にする事によってカリキュラムの充実性、自由性等のメリットの部分は講演を聞いて理解できますがデメリットの部分についての説明が少なかった様に感じます。デメリットの部分をもう少し掘り下げて議論すべきなのではと感じます。次回以降の会に反映して頂けると幸いです。
23	傍聴者にも資料を開示して下さい。紙ベースは費用がかかるのであれば事前に又は会場でデータで見れる様にするなど工夫して下さい。
24	講義はよかったが、これをどう小牧（北里）で生かすのか？不明すぎる。
25	現状は歩道のない狭い通学路になるが安全は確保されるのか。中学生と違い小学生は注意力が散漫になるが大丈夫か？安全が確保できないのであれば小木小学校の併合は遅らせるべきだと考える。
26	全国的に一貫校の事例が少ないが、メリット、デメリットの把握はどの程度出来ているのか。一般的に新しいことを始める場合メリットが強調されて、デメリットが隠されることが多いと思われるがどうか。
27	小学低学年と中学生が同一グランドで運動をすると、危険がある。
28	身体の小さい児童は、大きな身体の中学生に圧迫感と恐怖を感じる子がいる。
29	小中の授業時間の違いを始め、放課時間のズレもあり、互いの行動リズムが異なることにより双方ともに、制約の多い学校生活となり不満が蓄積する事になるのではないか。
30	中学は、中間試験、期末試験、ほかの各種行事もあり、小学生としてせっかくの放課時間も大きな音も、声も出せない窮屈で開放感のない時間を過ごすことが多くなると思われる。
31	グラウンド施設における、日陰、休憩場所は確保出来るのか。避難場所は出来るのか。（雷、雷雨、突風など）（不審者、危険動物などの侵入）
32	小木小学校区においては、小学校が遠くなることにより、特に賃貸住宅の入居者の減少に繋がることが想定されます。幼児、児童を持つ若い親世代の居住者が減り、増々高齢者比率が高くなり、強いては過疎化に繋がるのではないか。（地価も家賃もさがる。）
33	学校を考える会の件とは　直接関係ない事ではありますが、小牧警察署・小針交番は小学校の近くにあるが目立つ場所にはない。北里保育園の向い側に交番用地を無償提供しても良いとの申し出をしている方がみえます。消防署に隣接する状態になり、園児、児童、中学生の安全に大きく寄与するのではないかと考えます。小牧警察署でも既に承知済みの案件であると認識しております。学校から警察交番が見える事はこの上なく強い警備になると思います。